

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2024No.343】（HP 収載）

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：アントン・ブルックナー

曲名：交響曲第3番ニ短調（1873年・初稿）

演奏：フランソワ＝グザヴィエ・ロト指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55089>

2024年5月18日ベルリンフィル大ホールでの演奏です。



ロトがブルックナー「第3」と新曲を指揮

ブルックナーは交響曲第3番には3つのバージョンがあり、作曲家が創作にあたりどれほど苦心したかを示しています。指揮者のフランソワ＝グザヴィエ・ロトは初稿がもっとも完成度が高く、ブルックナーの本来の姿を示しているという考えから、今回の公演に1873年稿を選びました。コンサートの冒頭には、クラウディオ・アバド作曲賞を受賞したヴィト・ジュライの作品が初演されます。

上記の他に下記が演奏されました。

ヴィト・ジュライ

《Anemoi》（財団法人ベルリン・フィルハーモニー管弦楽团委嘱作品・初演）

ブルックナーの交響曲は聴く機会が多いのですが、第3番は、第4番とか第7番ほどは聴く機会がありません。このブルックナーの交響曲第3番は、比較的地味ですが、静かな表情から軽快なところ、また幾分重厚な表情までと表情が変わります。

ジュライの《Anemoi》は、現代曲で通常とは異なった奏法と通常使用されない擬音を発する器材を用いた、音楽というよりは、音楽性を持たないような音のオンパレードのような曲です。

今回は、Brooklyn DAC+と仮想アース Crystal E との接続が、Crystal E 付属のアー

スケールからアースアキュライザーに代ったことで、ブルックナーの交響曲第3番のような、地味ながら音の構成が複雑に変化する曲や《Anemoi》のような音の展開でも破綻なく聴けます。



以上